

当院における診療情報管理室の状況

238床のケアミックス病院において
病院機能評価受審を利用して
診療情報管理室を立ち上げた一例

(医)防治会 いずみの病院

いずみの病院の概要 ①

所在地:高知市

病床数:238床

一般病床 130床	I 群入院基本料2 118床 (内、亜急性 13床)
	緩和ケア 12床
療養病床 108床	医療療養病棟 60床
	回復期リハ病棟 48床

いずみの病院の概要 ②

診療科：内科、循環器科、外科、整形外科
脳神経外科、神経内科、消化器科、泌尿器科
放射線科、眼科、麻酔科、リハビリ科

設立：2001年7月

（四国勤労病院と梅ノ辻病院の統合移転により）

いずみの病院の概要 ③

年間退院数：1,660人 (2003.4～2004.3)

診療情報管理室：

専任2人＋室長(事務部次長)＋副室長(医事課長)

※2004年4月より専任体制確立

背景と出発点(1)

——「機能評価受審と診療情報管理室立ち上げ」前史

1979年11月 四国勤労病院開院

- * 「労組の労災職業病闘争との共闘」が旗印
- * 振動病、じん肺患者が患者層の中心
- * 理念性…労働者(患者)の健康権擁護

背景と出発点(2)

——「機能評価受審と診療情報管理室立ち上げ」前史

時の流れ&患者層の変化

- * 職域から地域(老人医療etc.)へ
- * 理念の空洞化？

ex.1999年 日医「診療情報提供指針」

→当法人傘下医療機関での規程化できず

開院から機能評価受審決定まで(1)

——「機能評価受審と診療情報管理室立ち上げ」前史

2001年7月 いずみの病院開院

* 理念等の整理

- ・病院基本理念
- ・医療基本方針
- ・患者の権利章典

開院から機能評価受審決定まで(2)

——「機能評価受審と診療情報管理室立ち上げ」前史

- | | |
|----------|--------------------------------------|
| 2001年12月 | 四国診療情報管理セミナーへの参加 |
| 2002年07月 | 診療情報管理士通信教育受講開始 |
| 2002年07月 | 2001年度年報発行(法人開設以来初) |
| 2002年10月 | 診療録管理委員会立ち上げ |
| 2003年03月 | 2003年度病院事業計画骨子
(診療情報管理室立ち上げ方針明確化) |

開院から機能評価受審決定まで(3)

——「機能評価受審と診療情報管理室立ち上げ」前史

その他の取り組み(IC促進)

- ・小冊子の販売(医者にかかる10箇条、私のカルテ)
- ・患者さまへのお約束
- ・ビデオ&図書コーナー設置(→患者図書室?)





処置や注射、検査などの
い、患者さまの同意を



治療方法が複数ある時は、医師は
が選択できるように、良き助言者と



患者さまの質問には快くお答えします

ご不明な点がございましたらお気軽に
お問い合わせください。医師と病棟スタッフは、患者さまの病
情がわかるよう、できる限りお答えします。



カルテの閲覧やコピーの希望には、原則として応
じます

患者さまの診療録（カルテ）は、ご自身の病
歴で取り戻すことができます。ご希望が
方は主治医または当院スタッフまでお申し
出ください。



2005/01/08

機能評価受審と診療情報管理室立ち上げ(1)

- 2003年07月 病院機能評価受審申し込み
- 2003年08月 診療情報提供規程
- 2003年08月 診療記録開示委員会規程
- 2003年10月 パンフ「診療情報提供のご案内」作成
- 2003年12月 診療情報管理室立ち上げ
 - ・病歴管理ソフト導入
 - ・2001.7開院以来の病歴入力
(電算室職員による)



診療情報の提供についてのご案内

財団法人 済生会 さい
〒100-0003 東京都千代田区
〒100-0003 東京都千代田区
TEL 03-5521-1100
FAX 03-5521-1101

皆様には、この冊子を通じて診療情報提供の仕組みについてご理解をいただくことを目的として、この冊子を作成いたしました。皆様のご理解を深め、安心して診療を受けられるよう、ご協力をお願いいたします。

【目的】 皆様が診療情報提供の仕組みについてご理解をいただくことにより、診療が円滑に進められ、患者様の安全と安心を確保することを目指して、診療情報提供の仕組みについてご理解をいただくことを目的として、この冊子を作成いたしました。

1. 診療情報の提供とは?

「診療情報の提供」とは、診療の過程で得られた、患者さまの身体状況、病状、診断、治療方針などの情報を提供することです。診療では、「診療情報の提供」には「診療情報の提供」と「診療情報の提供」の2種類があります。



「診療情報の提供」には、診療などのさいに医師が患者さまに対しての診療、または治療方針について説明を行うことです。情報としては、身体的な「診療情報の提供」が行われますが、身体的なことや精神的なことがあってもお気になさらないでください。この場合、もちろんお気になさらないでください。

一方、「診療情報の提供」には、ある方などの関係者がご協力をお願いします。この場合は、患者さまご自身によって必要なプライバシーを確保するという意味合いからお気になさらないでください。

機能評価受審と診療情報管理室立ち上げ(2)

- 2004年01月 診療録管理規程
- 2004年03月 病院中長期計画、04年度重点施策
(診療情報管理体制確立を再度位置付け)
- 2004年04月 診療情報管理室 専任体制確立**
- 2004年04月 診療録貸出利用規程
- 2004年05月 カルテ綴じ順ルール改訂
- 2004年05月 医療におけるプライバシー保護指針
- 2004年05月 職員ハンドブック

職員ハンドブック——患者本位の医療実践のために

I N D E X

第1章: 当院の理念および倫理的姿勢について	患者の権利章典、基本理念、その他の文書および解説
第2章: 診療情報提供	インフォームド・コンセント・マニュアル 他および解説
第3章: 安全文化	院長声明「安全文化の確立に向けて」および解説
第4章: 資 料	リスボン宣言、ヘルシンキ宣言 各種倫理綱領(日医・日病・日看協)、医者にかかる10箇条 他

機能評価受審と診療情報管理室立ち上げ(3)

2004年05月 診療情報管理に関する職員研修会
(Dr. 14名をふくむ75名出席)

2004年06月 訪問審査

2004年07月 診療録管理体制加算算定開始

2004年09月 認定留保決定 (報告書受取:11月)

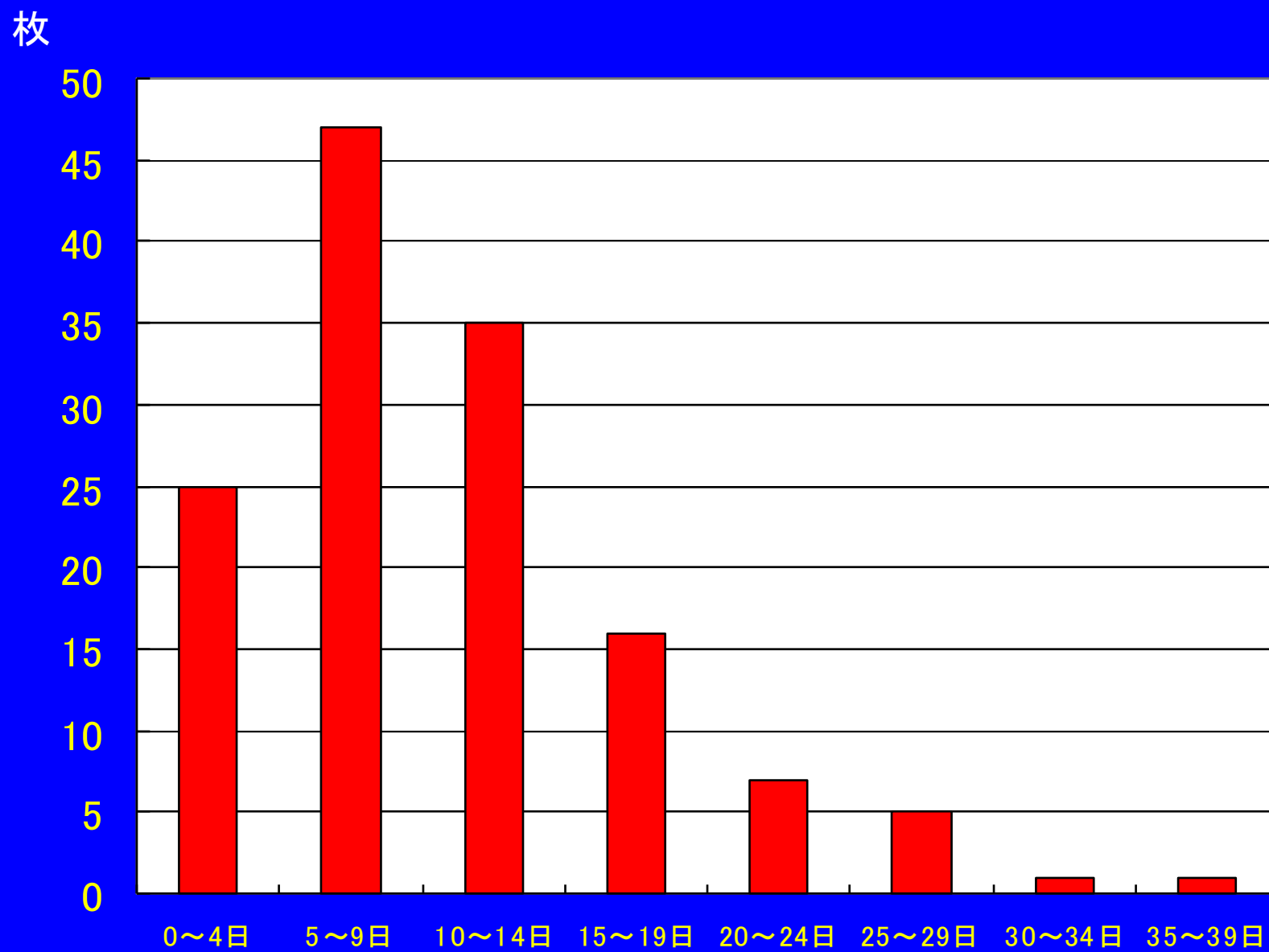
2004年12月 再審査申込

病院機能評価受審効果について

短期間で多くのことが実現できたのは、
病院機能評価という”外圧”の力が大きい

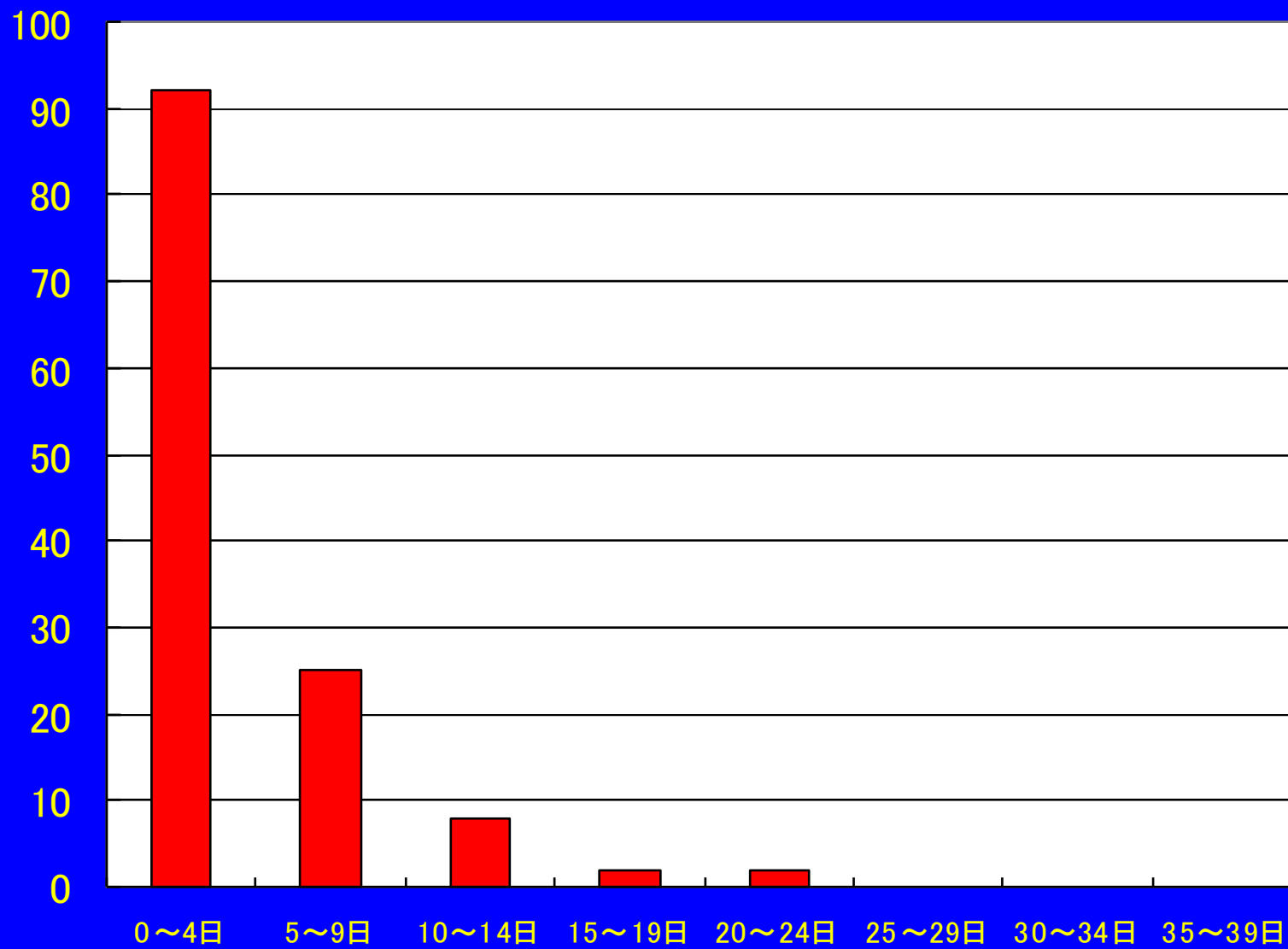
ex. サマリ作成所要日数の変化

サマリ作成所要日数(04年4月退院者)



サマリ作成所要日数(04年5月退院者)

枚



まとめ

当院の場合は、病院機能評価の“外圧”を利用しながら、運営委員会(＝病院幹部会)主導で診療録管理体制の最初の整備を進めることができた。

しかし、なによりも肝腎なのは、診療情報管理の重要性に対する担当者の「確信」と、それを目指す「熱意」である。

「熱意とは、事あるごとに
意志を表明する事である」

(故 川本輝夫氏の座右の銘)

終了